

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	職員間で身体だけでなく言葉や態度などでの拘束がある事の理解にバラつきがある、また、頭で理解しているが、行動に結びつかない職員もいる。	職員全員が外部、施設内研修や勉強会を通し、行動制限は当たり前にはいけない事という共通の理解をもてるようにする。	日々のケアの中での言葉かけや応対が適切だったのか？気軽に行動制限を行っていないか？等々、ミーティングなどの折にふれ、お互いに話し合いで検証しあいながら理解をし、身につけるようにしていく。	12ヶ月
2	38/39	隣接の特養には防災マニュアルがあり、同じ法人施設としてそちらを基準に周知している。開業して間もなく、職員により、その解釈・理解にバラつきがある。	職員全員が、防災マニュアルを理解する。そして、体で理解した内容を身につけ、避難時誘導など、全員が同じように考え・動けるようにする。	年2回の避難訓練と共に、施設独自の研修や勉強会を通して、より現実に近い想定で対策整備を行っていく	12ヶ月
3	10	運営推進会議には、毎回、行政・地域の代表者の方々や民生委員さん等に参加いただいているが、ご利用者様のご家族には、まだご参加いただけていない。	毎回、1名以上のご家族に参加いただき、近況報告を行いながら、グループホームの役割や認知症という病気に興味を深めていただく。参加いただくことで、より身近に感じ気軽に施設に来所いただけるようにする。	今後、スタッフ各々がご面会やホーム便り送付時など、折にふれご参加を呼びかけていく。会議参加を通してご利用者様の生活のご様子・施設のサポートへの取り組み方などを共有いただけるようにしたい。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。